

## 精神疾患の身体症状と身体疾患の精神症状

### 内科学総論

2011年9月1日 精神科 宮岡等

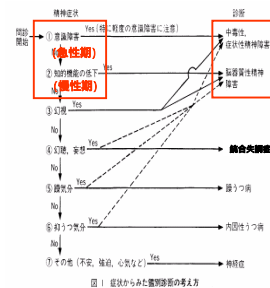
### 説明する症状

- 1) 概論  
「精神疾患の精神症状/身体疾患の身体症状」は理解しやすい
- 2) 精神疾患の身体症状  
心気症状  
自律神経症状(動悸、下痢、など)  
行動異常を介して生じる身体症状(神経性無食欲症のいそう、など)
- 3) 身体疾患の精神症状  
せん妄  
認知症状
- 4) いわゆる心身症
- 5) 精神疾患治療薬の副作用として起こる身体症状  
自律神経症状  
錐体外路症状(パーキンソン病症状)
- 6) 身体疾患治療薬の副作用として起こる精神症状  
あらゆる精神症状(特にせん妄)

### 精神症状の評価(精神現在症)

- 1) 意識: ぼーっとしている
  - 2) 知能: 計算ができない
  - 3) 知覚  
幻覚: ないものがみえる  
錯覚: あるものが別のものに見える
  - 4) 思考  
思考過程: 話がまとまらない  
思考内容:  
妄想: ありえないことを思い込む
  - 5) 感情: ゆうつだ、爽快だ
  - 6) 意志、欲動: 元気が出ない
- 主訴にない精神症状を  
見落とさないために項目別に評価する  
尋ねていない症状は  
「ない」とは違う

#### 症状からみた鑑別診断の考え方



### 講義で理解して欲しいこと

- 1) 身体症状 どのような精神疾患を考えるか
- 2) 精神症状 どのような身体疾患を考えるか

この講義では、個々の疾患の詳細までは覚えなくてよいが、考え方の枠組みを知って欲しい。

(但し今週後半から精神系(各論)が始まる)

### 心身相関が関係する疾患

- 1) 心理社会的要因が関係して身体疾患の身体症状が変動する  
気管支喘息の一部、消化性潰瘍の一部 **これが狭義の心身症!**
- 2) 身体疾患であるが、心身両面が複雑に関係する  
糖尿病
- 3) 心理社会的要因が関係して身体の機能障害を呈する  
白衣高血圧症、赤面恐怖症、パニック障害、過敏性腸症候群
- 4) 他覚所見に見合わない身体の異常(知覚異常、運動障害)を訴える  
転換型ヒステリーの一部(失立、失歩など)
- 5) 実際には存在しない身体の異常があることを心配する  
癌恐怖、自己臭症、舌痛症
- 6) 行動上の問題の結果として身体病変を生じる  
咬爪癖、神経性無食欲症、異食症、ミュンヒハウゼン症候群
- 7) うつ病の身体症状  
食欲低下、全身倦怠感、動悸、便秘、下痢、頭痛